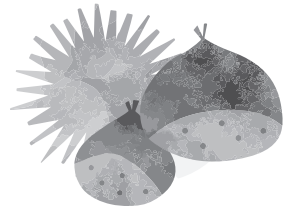




町長室だより

築上町長 新川 久三



昔から暑さ寒さも彼岸までといいますが、酷暑の時期を過ぎると朝晩は冷気を感じる季節となりました。

第3回議会定例会閉会

第3回築上町議会定例会は9月5日に閉会し、9月20日に閉会しました。議案は人事案件で、西田泉美さん人权擁護委員に推薦、議会では全会一致で同意されました。

ほかの議案は委員会審議を経て、すべて承認をいただきました。ただし、令和3年度的一般会計決算の認定においては、厚生文教常任委員会で一部反対はありましたが、賛成多数で認定、総務産業建設常任委員会では全会一致で認定され、20日の本会議では11人が賛成、2人が反対でしたが認定されました。

特別会計の決算は、国保会計は反対1人、ほかの7会計の決算は全会一致で認定されました。

町議会議員の皆様には、16日間慎重な審議をいただき、すべての議案の可決と決算認定をいただきありがとうございます。

ございました。

脱炭素社会に向けて

8月24日、「福岡県自治体の脱炭素対策と地域発展」と題して国立研究開発法人産業技術総合研究所の歌川学さんの講義を受け、その概要は次のとおりです。

地球温暖化で異常気象による被害が多発し、原因の温室効果ガスを抑制するため、先進国ではCO₂（二酸化炭素）排出量を2030年までに50%程度削減、2050年までに実質排出ゼロに向けて合意がなされています。

今後、築上町が行うことは、化石燃料から自然エネルギーへの切替え、カーボンニュートラル（温室効果ガスの排出量から植林などによる吸収量を差し引いて実質ゼロにすること）が可能となる植物燃料開発の推進と、地域振興とを兼ね合わせた施策です。

歌川さんの資料によると、築上町の温室効果ガス排出推計量は年間7万トンで、光熱費は概ね40億円となっています。本町で消費されるエネルギーは

ほとんどが化石燃料に頼っているため、化石燃料に替わる燃料を開発・生産する事業所を町内に設置することにより地域振興につながります。

気温上昇を抑えれば自然災害も少なくなる。築上町は小さな自治体ですが、10月1日に「築上町ゼロカーボンシティ宣言」をし、世界的課題の解決に向け、独自のカーボンニュートラル計画を樹立して先行地域の指定を受けられるよう頑張ります。

町民の皆様には朝晩冷え込んでまいりますので、寝冷え等に留意していただき、ご自愛のほどよろしくお願いたします。



▲9月11日、フレンドリータウン協定を結んでいるギラヴァンツの感謝デーでミクニワールドスタジアムに観戦に行ってきました。